

春秋会

ニュースレター

2022.6



今月の予定

- ・ 6月7日(火) 19時
親睦委員会「新人歓迎会」
- ・ 6月10日(金) 12時
30分 日弁連定期総会
- ・ 6月14日(火) 13時
30分 大阪弁護士会総会
- ・ 6月14日(火) 18時
30分 大弁・春秋会役員退
任慰労会
- ・ 6月21日(火) 12時
第3回幹事会

皆さま、梅雨はいかがお過ごしですか。

さて、今月のニュースレターも、梅雨のジメジメを吹き飛ばす豪華なラインナップでお届けします。

皆さまからのご意見・ご感想など、広報委員一同楽しみにしています。

夏限定企画「僕の、私の怖い話」

夏といえばやっぱり怖い話でしょう! ということで、夏限定企画として「僕の、私の怖い話」を特集します。霊的なものからヒヤリハットの怖い話まで、背筋の凍る(?)お話を皆様にお届けします。

夜怖くて眠れなくなっても広報委員会は責任を取りませんのであしからず。



北斜面(47期 岩本朗)

高校まで、札幌市内の藻岩山の麓で育った。藻岩山には市民スキー場があり、中学生時代の冬の土曜日の楽しみは友達と出かけるナイタースキーだった。

スキー場は僕たちの自宅方面とは反対の南斜面にあったので、僕たちは、ナイター終了時刻ギリギリまで滑ったうえで、スキー場ではない北斜面を滑って近道をして、自宅に帰ったりしていた(なお、斜面を下りた後は、普通の道路を滑って帰ることになる)。北斜面での滑走路は、ロープウェイの下か登山道。いずれも滑走禁止である。

ある日、誰が言い出したか、登山道を滑って帰ることになった。登山道は、ナイターの照明やロープウェイの照明が消えると、真っ暗である(雪明りはある)。冬には誰も立ち入らないから、圧雪もされていない。

転倒したり、谷に落ちたら大変なことになるが、案の定転倒した。スキーがはずれた。スキー靴で立ち上がったとたん、落とし穴に落ちたみたいに、ズボッと肩まで雪に埋もれた。脱出しようとしても雪が崩れて足がかりがとれないので、自力では雪の中から脱出できなくなった。後から来た友達に引っ張ってもらって、ようやく脱出した。

ひとりで滑っていたら、そのまま凍死である(まあ、さすがにひとりで滑る度胸は当時もなかったけれど)。これに懲りて、その後、登山道を滑ったことはない。おとなしくロープウェイ下を滑ることにした。

2022年度 広報委員

- ・堀川 智子 (57期、委員長)
- ・西原 和彦 (55期、担当副幹事長)
- ・有村 とく子 (50期)
- ・中森 俊久 (55期)
- ・山口 昌之 (58期)
- ・浦 寛幸 (59期)
- ・広瀬 元太郎 (60期)
- ・柳 勝久 (61期)
- ・金 星姫 (66期)
- ・木場 晶子 (67期)
- ・田村 瞳 (67期)
- ・板崎 遼 (67期)
- ・吉留 慧 (68期)
- ・高 一成 (69期)
- ・根本 俊太郎 (70期)
- ・佐久間 ひろみ (71期)
- ・足立 敦史 (71期)
- ・村本 健司 (71期)
- ・河野 哲平 (71期)
- ・オ木 晴幹 (72期)
- ・久井 大輝 (73期)

カバン(匿名希望)

私選の被疑者弁護。

勾留中の被疑者(横浜所在の工事会社の社長)から、急ぎ必要な会社費用の支払いのため、キャッシュカードを宅下げし、翌日に横浜から遙々お越しの奥さんに渡す予定が、宅下げ後そのまま飲みに行ってしまう、帰りの電車の中で爆睡。

自宅の最寄り駅直前に目が覚め、慌てて電車から降りたところ、キャッシュカードの入ったカバンを置き忘れ、カバンは次の駅へ…

幸い、次の駅が終点だったため、超特急で次の駅まで向かってカバンを回収し、事なきを得ましたが、生きた心地がしませんでした…



それが怖い?(57期 堀川智子)

私は怖がりだ。

お化け屋敷とか人為的なものはまあいいとして、心霊スポットとか苦手。霊的なものを感じる力なんて持ち合わせていないけれど、今回お題の「怖い話」も霊的なのは日中に読むことにしよう。

高いところも怖いし、身体に異物を入れるのも怖くて、おしゃれも出来やしない(ピアスも出来ないし、コンタクトも入れられない)。出来ないのはアレルギーのせいでもあるけれど。

そんな私がこの数年、鍼灸に通っている。鍼なんて、身体に異物の最たるもの。怖がりの私には、本来ハードルの高いものだが、重度のぎっくり腰に苦しんでいたときに信頼出来る友人から紹介され、今やすっかり信者だ。

腰痛等に限らず心身の不調にお悩みの方、よろしければご紹介しますよ。

いや、そのハマりっぷりが怖い?

骨折には気を付けて… (58期 山口昌之)

私は趣味でバスケットボールをしています。細かい怪我(頭から流血して縫合した×2、捻挫×数え切れない、突き指×もつと数え切れない)を除き、弁護士登録をしてからこれまで多分4回骨折しています。

細かい怪我であれば我慢して何とかプレイできますが、骨折の場合は治るまでプレイできないところが辛いところです。そのうち2回は指があらぬ方向に

曲がって、自力では戻すことができず、指が曲がったまま救急車で病院に行つて、医者に「ちょっと痛いですよ」と言われながらゴリゴリと元に戻すという作業が必要でした。

皆さん、スポーツはほどほどに楽しみましょう。

貞子が出てくる(59期 浦寛幸)

だいぶ前の話です。

「らせん」というホラー映画を夜に自宅のテレビでみていて、その日は大雨が降っていました。

一番怖いシーンで、テレビ画面が砂嵐になったと思ったら、次の瞬間、テレビの電源が「ブイン!」と切れて画面が真っ暗になったのです。

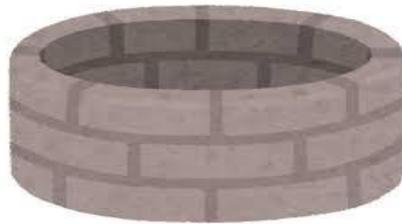
そして、その直後、部屋内の照明が「ババババババ」と消えていきました。

暗闇の中で聞こえるのは雨の音だけ。

「ひiiiiii! 貞子でてるやん!」と心臓が止まりそうになりました。

すると、その瞬間、大きな音で、「バリバリバリー!」と、雷の音が。

なーんだ、雷の音かー。と、大きな雷の音なのに安堵したのでした。



家事調停(匿名希望)

その日は、午前から尼崎の家庭裁判所で家事調停でした。でも、何を勘違いしたのか、気づけば私は堺の家庭裁判所に来ていました。

背筋が凍りました。

今からでは間に合わないと判断し、電話会議に切り替えてもらい、難を逃れましたが、認知症が始まってしまったのでしょうか。思い込みとは怖いものですね。

日に日に増える鉢(67期 木場 晶子)

日に日に増える鉢、という怖い話をご存じでしょうか? なんのことはない、よい花屋を見つけたことを契機にガーデニングにハマっただけなのですが、困ったことに、鉢が増える増える。SMAP の名曲も示す通り、どれもみんな綺麗で、つい手が出てしまいます。

しかし、マンションのベランダスペースは有限。1年草に限って、と思いつつ、夏

が来るので野菜もいいなあなど煩惱は尽きず…。

帰り道に花屋があるというのは恐ろしいものです。新地に近いためか、梅田の駅前ビルの花屋はどこも安くてお勧めです。初心者の方におススメの花・野菜情報ありましたら是非教えてください(できれば虫は付かないもので。笑)。

謎の黒い点(71期 村本健司)

つい先日、「事務所の観葉植物に黒い点のようなものが複数付着している」旨事務員から報告を受け、インターネットで調査したところ、「カイガラムシ」であることが判明しました。その駆除方法について事務員と調査及び協議したところ、結局のところ「一つ一つ手で取る方法」が確実かつ容易であるとの結論に至り、事務員と2人で、ウェットティッシュを用い、複数の黒い点を一つ一つ手で、地道に、すべて取り除きました。

そして更に、念押しとして、上記観葉植物の幹、枝及び葉をすべてウェットティッシュで拭きました。

その共同作業は1時間以上にも及びましたが、筆舌に尽くし難い達成感を共有し、事務員との絆は更に深くなりました。

ところがその翌日、私は、事務員から、「事務所の観葉植物に、昨日取り除いた黒い点よりも小さく、薄茶色をした点のようなものが、複数付着している」旨報告を受けました。至急調査を実施したところ、「カイガラムシ」の幼虫か、卵か、とにかくそのようなものらしいということが判明しました。

「カイガラムシ」という種のしぶとさに感心するとともに、弊所はいずれ「カイガラムシ」に乗っ取られるかもしれないと日々恐怖しています。

今回の怖い話特集、いかがでしたでしょうか？

広報委員会では7月号8月号のニュースレターにも怖い話を掲載予定ですので、皆様の怖い話も大大大募集しております。

もし、そのようなお話があれば、堀川智子広報委員長 horikawa@lion-law.com までDM頂ければ幸いです。

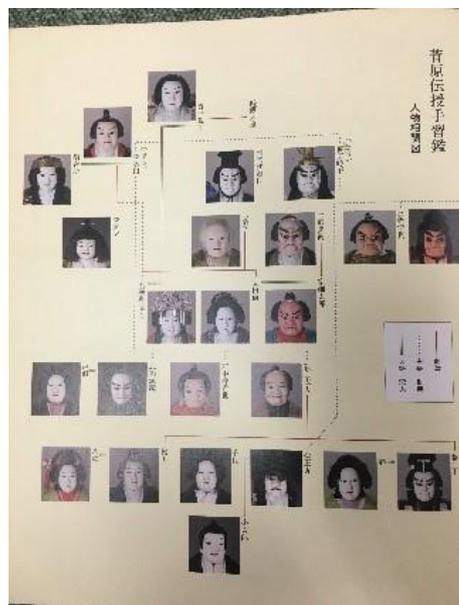
菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてな らいかがみ）

小橋るり(51期)



コロナ禍になってからずっとある頭(かしら)@
国立文楽劇場1階ロビー

全段16段あります。登場人物は総勢24人です。時代ものです。通し狂言
といって一日がかりで上演されることがありますが、有名な段はなんといっても
「寺子屋の段」です。歌舞伎でもだいたいがここばかり上演されていますね。
ざっくりしたストーリーは白太夫という忠誠心旺盛な父親に3人の優秀な男子
がいて(松王丸、梅王丸、桜丸)、各々3人が異なる主君に仕えるのです、舎人
といって公家が乗る牛車を扱う人。父親にしたら3人違う主君に仕えさせること
で浮き沈みがいろいろあっても、誰かひとりでも出世してお家安泰っていうリス
クヘッジ?的発想があったんかなあ…。その主君の一人藤原時平と右大臣菅
丞相が「対立」しちゃって、そのあおりを3人兄弟が受けて悲劇が起こるとい
うものです。菅丞相(かんしょうじょう)は菅原道真、藤原時平が時の権力者であ
った藤原氏…。



国立文楽劇場で販売していたパンフレ
ットより

(多分著作権の問題でここに掲載するの
はダメっぽいけど、うちわで見るだけなら
いいかもと思っただけの掲載です、なので転
送転載とかしないでね。)

【通し狂言で一度は是非に!】

平成26年4月公演で七世竹本住大夫さん引退公演があり、通し狂言でなされました。

実際観に行きました(聴きに行ったといってもいいですね)。当日配布されるビラや劇場で販売されている冊子などを購入するなどしていただきたいの物語を頭に入れていくと思います。だいたい、杖折檻の段、喧嘩の段、桜丸切腹の段、そして寺入りの段、寺子屋の段がかかり(上演され)ます。

(桜丸と妻の八重:八重桜をもじってますね♪)



国立文楽劇場で販売しているパンフレットの写真です。ここだけ見るならいいかと思っただけの掲載ですので、転送転載しないでね。

【寺子屋の段-その1-愚鈍顔】

超有名なのは寺子屋の段です。ご覧になった方も多いかもかもしれませんね。菅丞相は都を追われる羽目になるのですが(理由は割愛)、元部下の武部源蔵氏が菅丞相の子どもの菅秀才(かんしゅうさい)だけはせめて生き延びさせようと梅王丸の協力で幽閉された屋敷から逃がします。匿った先は自らが塾長を務める武部源蔵の営む寺子屋でした。

この元部下の武部源蔵は腰元戸波と男女関係になってそれが理由で菅丞相から勘当(お役御免、一発懲戒解雇、コンプライアンス的に当時も?そういうルールだったのかな??)される人です。なのに菅丞相のことをものすごく尊敬していたのかずっとずっとその忠誠心を持ち続けるのです。秘伝筆法を菅丞相から伝授してもらったということが大きいのかな?

戸波と源蔵夫婦は田舎でひっそりと寺子屋を開いてお百姓の子らに読み書きを教えているのですが、そこに来ているお百姓らの子らの人形の面(お顔)がもうはっきりいって、頭悪いんやろうなあってひとめで分かる頭(人形の首から上の部分をかしら、といいます)なんです、全員が!肌の色はすすけているし、鼻は上を向いているし、目じりとか下がっているし、よだれくりというあだ名?の

最年長の子などは、ほんまにどうしようもない感じなのです。因みに人形浄瑠璃ですと頭の造りと太夫の語りでその「あの子ら、頭、わるいんやろうなあ、どうしようもないなあ」感が出るのですが、役者が演じる歌舞伎ですとこのアホ感出すのは難しく、割と重要な役回りです。大人の役者が「頑是ない、ちょっとどうしようもない出来の悪い、でもそこが親からしたら可愛い子ども」を演じて技があるみたいで、今の猿之助さんが昔、このよだれくりをしていたのにはびっくりしたことがありました。菅秀才や新入生の小太郎などはもう頭からして「賢そう」なんです。色白でお目目がぱっちり、お鼻もちゃんと穴が下を向いて、また、セリフが小憎らしくて、「一日一文字覚えれば一年で365文字覚えられるう〜」とかいって他の塾生（←お百姓の子ら）に対し述べたりするので、よだれくりの子が半紙にへのへのもへじを書いている傍で…。ちよい、ピノキオ君要素があるかな？あ、ここで小太郎君（賢者顔の）の入塾の経緯をご紹介します（寺入りの段）。身分が高い感じのお女中に連れられてこの寺子屋に入ります。お女中は「私はちょっとそこまで」って言って小太郎君を置いていきます。小太郎君、お女中が出て行くとき（母親・松王丸の妻千代）、「かか様、行かんといてなあ、僕も一緒に行くう」とちょっとぐずるんですネ。あとでこのシーンは効いてきます。ともあれ、そんな中で、寺子屋に菅秀才を探しに来た松王丸と玄蕃（げんば）という菅丞相の敵役藤原時平の家来がドスドス、おらああっていう感じでやってくるのです。

次号へ続く

「ウクライナの今、これまで ロシア市民の思いは？」 研修報告

研修担当副幹事長 田積 祥子（65期）



去る5月13日（金）、本年度第1回目の研修である「ウクライナの今、これまで ロシア市民の思いは？」が開催されました。堂島法律事務所とZOOMとのハイブリッドにて開催したところ、事前の参加登録者数は139名、当日瞬間最大110名もの参加を得て、大盛況となりました。やはり、この問題への皆様の関心の高さが伺えました。

ご参加いただいた先生方、誠にありがとうございました。

講師を務めてくださったアザマト・シャキロフ先生は、ウズベキスタンのご出身で、ロシア及びウズベキスタンの弁護士資格をお持ちです。日々、原文での情報を取得されており、母方のご親族がウクライナ・クリミア半島ご出身というなか、客観的な情報を提供いただき、中立的な立場から解説頂きました。

研修では、ウクライナの地理的重要性、特に、山がほとんどなく広い平野があるため、農業が盛んであって、非常に魅力的な土地であるということ、そのため、侵略者の標的にされやすかったということからお話いただきました。これまで様々な国の支配下に置かれ、かの有名なモンゴル帝国の支配下に置かれたこともあったなど、その歴史的背景についても詳しく教えて頂きました。現在の問題についても、生活の安定性を求める新ロシアか、リスクがあるが豊かさを求める新欧米か、非常にセンシティブかつ、現地の住民の中でも意見が分かれる考え方について、中立的な立場から多角的に解説頂けたと思います。それ故に、今回のウクライナ問題が未だ終息しない解決の困難さを、少しですが知ることができたような気がいたします。

皆様からの質問も非常に多く、内容も多岐にわたりましたが、時間の都合上、すべてお受けすることができないほどでした。非常に内容の濃い、貴重なお話をうかがえた研修になったと思います。

今回の研修では、蔓延防止措置も解除されていたため、本当に久々に懇親会を行うこともできました。4月に弁護士登録をされた74期の先生方にも多数ご参加いただき、経験豊富な先生方から色々なお話を聞くこともでき、大変充実した懇親会になったと思います。やはりリアルの懇親会で、ベテランの先生方から新人の先生方まで、和気あいあいと盛り上がるのは春秋会の醍醐味であると思います。

コロナ情勢は予断は許しませんが、本年度はできる限りリアルでの開催や懇親会も行っていきたいと思います。

最後に、お忙しい中、準備を含めて多くの時間を割いて下さったアザマト先生には本当に感謝申し上げます。

また、研修にご参加くださった皆様も、誠にありがとうございました。



今月の一曲 ~ Will you still love me tomorrow? ~

青木佳史 (41期)

粋な先輩に連れられて入った隠れ家は、猥雑なネオンの煌めく雑居ビルの地下にひっそりとあるワインバーだった。そこには一枚板のカウンターにワイングラスが並び、奥にはLPレコードがずらりと並んでいた。70年代から80年代あたりジャズ、フュージョン、AORの名盤が揃っており、店のマスターは、客の顔や雰囲気・会話からターンテーブルに載せる盤を選んでいた。

カウンターに座り寛いでいると、透徹したピアノのイントロがしばらく奏でられた後、Tonight you're mine completely...と密やかな女性の歌声が囁き始めた。そこにストリングスが被さってくるもののごく控えめで、聞き覚えのある美しいメロディが淡々と紡がれていく。これって、Will you still love me tomorrow? ですよね、誰の演奏ですか? 思わず問うと、マスターがしたり顔で立て掛けたジャケットは、アフロヘアの笑顔が大写しのロバータ・フラック3枚目のアルバム「Quiet Fire」であった。



何度も聴いているはずの有名曲が、独創的なイントロ、落としたテンポ、抑えた歌唱により、まったく違った美しさで迫ってきた。明日はもう貴方はきっと私のことは忘れてしまうかもしれない、でも恋とはそういうものね...という諦観が透けるような演奏に、すっかりやられてしまった。

ロバータ・フラック演奏 <https://youtu.be/6HQzdBYZi8>



元はといえば、まだ作詞・作曲と演奏がはっきり分業していた60年代前半に一斉を風靡したキャロル・キング&ジェリー・ゴフインの夫婦ペアが、黒人女性ボーカルグループ・シュレルズに提供し、初の全米一位のヒットとなった曲である。軽快でアップテンポなギターサウンドで、今夜、貴方はわたしだけのもの、なんて素敵なこの夜、明日もきっと私を愛してくれるわよね?と若い少女のときめく気持ちを乗せたポップスが、全米中のジュークボックスで流されたことだろう。

シュレルズ演奏 <https://youtu.be/PAXb1vnb520>

とはいえ、この曲をスタンダードの名曲の位置に据えたのは、70年代SSWの時代になり、自らSSWに転身したキャロル・キングがデビューアルバム「タペストリー」に収録した演奏があつてこそであった。シュレルズとは一転、ピアノの弾き語りでゆったりとしたテンポで語りかける演奏は、恋の儚さ、脆さも知った大人の恋の歌になっていた。名曲揃いのこのアルバムの中でも特に印象に残る一曲だ。

キャロル・キング演奏 <https://youtu.be/Dfmn9M6hXVI>



そして数多の歌手がこぞってこの曲をカバーしていく。

ギターの名手デイブ・メイスンが歌うと、別れないでほしいと願う男の弱さが泣きのギターに絡む表情になる。

<https://youtu.be/P-uTiJ5q8kc>

夭折したイギリスのソウル・ディーバ、エイミー・ワインハウスが骨太のリズム隊にのせて歌うのは、もう離れることはできなくなった熱愛を寄せる想いである。

<https://youtu.be/JJ3B9wy4Xws>

かたや、英米のポップスをジャズマナーで独自の世界に引きこむ名手、スウェーデンのインガー・マリエが歌うと成熟した大人の恋の駆け引きを垣間見るようだ。

https://youtu.be/p3y2e_xnsP4

大御所ベット・ミドラーにかかると、あんた、私だけだよって言ったわよね、明日になっても忘れなさんなよ、まあまたどこか別のところに行ってもすぐ戻ってくるんだろうけどね、という姉御の包容力になってしまう。

<https://youtu.be/kMCyMdPFZal>

歌い手によって、これほど歌詞の意味あいや表情が変わる曲もそうそうないかもしれない。

それにしても、ロバータ・フラックである。彼女は作曲はほとんどしないが、両親が音楽家でクラシック教育をしっかり受けた素養を基に、傑出した編曲の才能で数々の名演奏を生みだしてきた。キャロル・キングの自作自演とほぼ同時期に、原曲からここまでの別世界を展開してみせる技に感服するしかなく、今もこの曲の一番である。

※ Will you still love me tomorrow? の名演奏を集めたプレイリストはこちらから
<https://open.spotify.com/playlist/0Ty5DbGI2udFV52PO99UI0?si=217f9d6753f04004>

執行部だより

政策委員会担当 副幹事長 松井淑子（51期）

1 なぜ副幹事長の仕事をしようとするのか？

飯島奈絵幹事長のもと、副幹事長6名の総勢7名で①2022年度大阪弁護士会の春秋会の執行部がスタートしました。今回の「執行部だより」は、なぜ執行部の仕事を引き受けたのかということについて書きたいと思います。

春秋会には、全会員が議決権をもつ年3回開催される②総会のほか、毎月開催される③幹事会、幹事の会員、さらには、④政策委員会、⑤広報委員会、⑥親睦委員会、⑦研修委員会、⑧若手会といった各会を

支える会員、さらには大阪弁護士会の会長、副会長を推薦する職責を担う⑨選考委員会の会員がいます。

多くの春秋会会員によって、この組織が運営されて支えられています。しかし労力の提供に対する対価は基本的にはありません。

春秋会会費2万円を支払いながら、なぜ上記の組織運営の分担を引き受けるのか。

やってみたら、普段の弁護士業の仕事とは異なる仕事であり、サークル活動のようで楽しいから、気分転換になるからというものもありますが、私の場合、4年間の任期付公務員として国税庁の組織で国税審判官として働き、その際、国税職員と税理士の関係性を垣間見た思いで、改めて「弁護士自治」について考えたことが大きいです。

2 税理士監理官

国税審判官となった際、国税局の組織図、役職を見ていて驚いた役職がありました。

「税理士監理官」。

税理士には「税理士自治」はなく、国税庁が監督官庁としてあります。その一環として、国税局には「税理士監理官」という役職がありました。

また実際、同僚、上司となる国税職員の方々と話をしている税理士を下に見るといった雰囲気を感じたこともありました。さらには、弁護士業に復帰後、税理士の方々と仕事を一緒にすることが増えた中、税務署職員、国税局職員に対して、一歩引いているような税理士も確かにいることに驚きました。「監理」する側とされる側の位置付け故なのか。

そこで改めて、監督官庁がない「弁護士自治」がいかに凄いものなのか、これがあるからどこに対しても気後れ等は一切することなく、弁護士としてすべきと思うことをできているのだと実感するに至っています。監督官庁がないということが、弁護士自治それ自体が心のあり方に大きく影響しているに違いないと。

3 弁護士4万人の組織—監督官庁なく、弁護士らで自主管理—

この自治組織は、私の場合、分譲マンションの管理という自主管理と同じだと思っています。自分達で管理する、組織運営する、そのためには誰かが理事長や理事になったり、何かを担当したりしないといけな

い、他の人に担当してもらっているだけでは申し訳ない、順番が回ってきたら期間限定だしやるか、と。

日弁連が無かったら？、大阪弁護士会が、会長が、副会長が、委員会が、そして会派が、会派の委員会活動等が無かったら、弁護士自治は成り立つのかと想像しています。大阪弁護士会だけで4000人を超える会員について、自治組織としての一体性等を保つための会派の存在、種々の会派活動なのだと私の場合、理解しています。

4 大阪弁護士会 春秋会

飯島幹事長の超迅速な動きのもと、無理のない範囲で、楽しく会派活動を！ということで、飯島幹事長の奮闘に引っ張られる形であまりまだお役に立てていないのですが、運営等については見直せるところは見直し、削れる「負担」は削り、次の方々のために更なる地均し、整地、草抜き等ができればと考えています。

副幹事長6名の中でも役割分担をしており、私は中島宏治委員長率いる政策委員会担当です。ここでも中島委員長や他の委員の奮闘で年間の活動予定が既に検討され、直近では早速5月情報セキュリティ規程に関する勉強会が早速5月に実施されています。

詳しくは村瀬謙一先生によるMLへの報告等をご覧ください。こうした情報流通、意見交換等も、大阪弁護士会の組織だけでは難しく、会派とその活動を担ってくださる会員の方々がいてくださるからだと感謝しています。

以上



ニュースレターの原稿大募集します

広報委員会といたしましては、このニュースレターを双方向的なものにしたいと思っており、皆様の原稿を大募集します。ぜひ、投稿ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

下記にお送りいただければ、ニュースレターに掲載させていただきます（もちろん、一定の審査はさせていただきますが…）

horikawa@lion-law.com